

編集後記

まだベルリンが東西に分割されていた頃、中部ヨーロッパを旅したことがある。ベルリンからドレスデン、プラハ、ウィーン、ブタペストと南下する行程であった。今夏、中部ヨーロッパを襲った集中豪雨は、ドナウ川やエルベ川、ブルタバ（モルダウ）川などの水位を観測史上例のない程に高め、中世を色濃く感じさせる岸辺の町々を次々にヴェニスのような光景に変えてしまった。ロシアの黒海沿岸、中国南部でも大きな洪水被害が発生している。。

二酸化炭素などの温室効果ガス（GHG）による地球温暖化、これに伴う異常気象の頻発という IPCC（気候変動に関する政府間パネル）レポートの指摘どおりの状況が眼前にある。そういえば7月に2個も続けて台風が関東地方に上陸するなどということも、やはり変だ。。

異常なのは気象ばかりではない。義理の父、母、子を刺し殺したり、また母娘を殺害後に放火したり、さらにブロック片が結束された死体が塩釜港に浮く。あまりにも殺伐としている。やはり変だ。

あの時、スメタナのお墓を案内してくれたガイドさんの無事を祈ろう。

(2002年8月 古井)